

平成 23 年度事業報告について

1 茶文化の提案及び普及

(1) 茶文化セミナー、講演会等の開催

ア お茶の文化を普及するため、講演会等を開催した。

開催時期	場所	内 容	出席者
平成 23 年 10 月 5 日	沼津東急ホテル (沼津市)	「沼津茶振興に貢献した偉人「江原素六」 を知り、沼津茶を楽しむ」 講師 南駿農協組合長 鈴木道也 (南駿農業協同組合と共催)	163 人
平成 23 年 10 月 26 日	県男女共同参 画センターあざ れあ(静岡市)	「女性と茶の湯」「百茶文について」 講師 静岡英和学院大学講師 小和田美智子 静岡大学名誉教授 平形精一 (静岡市、中部農林事務所と共催)	85 人
平成 23 年 11 月 25 日	アトシイ浜松研 修交流センター (浜松市)	「世界の茶・日本の茶」浜松 100 茶ブレンド 講師 静岡文化芸術大学学長 熊倉功夫 パネリスト (株)つぼ市製茶本舗会長 谷本陽蔵 静岡産業大学特任教授 中村羊一郎 (浜松茶農業協同組合、浜松市茶振興協議会 と共催)	165 人

イ お茶に関する知識を深めてもらうため、生涯学習施設や学校と連携したセミナー等を行った。

名 称	開催時期・場所	内 容	出席者
「新茶と 和スイーツ」	23 年 6 月 05 日 6 月 10 日 (エネア静岡ショールーム)	実習 お茶の淹れ方 お茶を使ったスイーツ (静岡ガス(株)との共催)	24 人
「ゆったりと お茶」	23 年 7 月 22 日 (浜松市発達医療総合 福祉センター)	講義と実習 お茶の楽しみ方 皇室献上茶をはじめ、数種 類のお茶の飲み比べ	20 人
「静岡いい もの大集合」	24 年 1 月 15 日 (静岡市大里生涯学習 センター)	実習 各産地のお茶紹介、ミニ闘 茶、ブレンドティ・ほうじ 茶作り、お茶入り菓子作り	200 人

「お茶のある暮らし」	24年1月20日,27日 (静岡市西奈生涯学習センター)	講義と実習 地場産業のお茶、 お茶の歴史、世界のお茶 お茶とスイーツ	30人 (延べ)
------------	---------------------------------	---	-------------

(2) 緑茶に関する情報誌「緑茶通信」の発行

緑茶に関する幅広い情報を発信するため、情報誌を発行した。

29号 平成23年 9月発行	特集「健康と緑茶Ⅲ」 「機能性食品としての茶」「緑茶のインフルエンザ予防効果」「生活習慣病予防と緑茶」「緑茶飲用と前立腺がんとの関連」 ○ 世界お茶事情(シルクロードの茶) ○ 茶関連施設紹介(愛知県陶磁資料館と茶室陶翠庵) ○ 全国の茶産地から(静岡県 菊川市) ○ 【特別寄稿】「女性と茶の湯」 ほか	1,200部
30号 平成24年 3月発行	特集「日本の茶・世界の茶」 ～世界の喫茶文化を知り、日本茶の新たな可能性を探る～ ○ 世界お茶事情(モンゴルのお茶事情) ○ 茶関連施設紹介(茶室 麟閣) ○ 全国の茶産地から(滋賀県 近江の茶) ○ 【特別寄稿】「煎茶“道”の祖、高遊外売茶翁とは」	1,200部

(3) その他の茶文化普及等の事業

さまざまな機会を捉えてお茶のプロモーションや呈茶サービスを行い、日本茶の魅力や情報を発信した。

開催時期	イベント等の名称
6月18日・19日	ふじのくに食育フェア2011 (三島市 日本大)
9月26日	日本・米国中西部会 日米合同会議 (東京 帝国ホテル)
10月19日	茶学入門 (静岡市 静岡県立大学)
10月23日	茶・食・住+温泉を考えるミーティング (伊豆の国市)
11月26・27日	静岡アジア太平洋学術フォーラム (静岡市 グランシップ)

(4) 静岡茶の体験コーナー業務運営受託

茶文化の普及や茶の消費拡大を図るため、しずおかO-CHAプラザの静岡茶体験コーナーの業務運営を静岡県から受託した。

県内主要産地のお茶を使つての淹れ方指導など季節に応じたミニ講座を開催した。

<運営概要>

施設規模	67 m ² 15 席
運営体制	開場時間 月曜～金曜 午前9時30分～午後4時30分 内 容 世界緑茶コンテストの入賞茶の展示や、茶関係書籍や産地情報の閲覧など、ミニ講座の実施とともに、お茶に関する情報発信を行った。

<利用者数>

月	人数	月	人数
4月	186	10月	175
5月	242	11月	195
6月	291	12月	233
7月	136	1月	179
8月	270	2月	233
9月	153	3月	173
		2,466	

<ミニ講座開催実績>

内 容	開催時期	開催回数
新茶を楽しむ	05月12日～05月26日	6
冷茶を楽しむ	06月14日～07月01日	6
夏休み親子緑茶教室	08月02日～08月24日	6
山のお茶100選を楽しむ	10月18日～11月09日	6
入賞茶を楽しむ	12月08日～01月24日	6
お茶とお菓子でおもてなし	02月10日～03月05日	6

(5) 富士山静岡空港「静岡茶おもてなしコーナー」運営受託

お茶の魅力を国内外に発信するため、静岡県が設置した富士山静岡空港の「静岡茶おもてなしコーナー」の運営を受託した。

<運営概要>

施設規模	50 m ² 7 席
運営体制	開場時間 毎日 午前9時30分～午後5時30分 内 容 呈茶スタッフが常駐し、空港利用者に県内産のお茶をサービスするとともに、お茶の淹れ方や産地によるお茶の特徴などを説明。

<利用者数>

月	人数	月	人数
4月	4,810	10月	4,962
5月	7,058	11月	5,335
6月	5,725	12月	5,715
7月	5,390	1月	5,525
8月	7,163	2月	5,115
9月	5,335	3月	5,797
		計	67,930

(6) 日本茶に絞った中国語基礎講座の開講

世界に誇る日本文化「日本茶」について中国語で説明できるようになることを目的とした中国語基礎講座を開講した。

開講期間	平成23年12月～平成24年2月（全6回）
開講場所	しずおかO-CHAプラザ
内 容	日本茶の文化、効能、淹れ方などを説明する中国語を学ぶ
受講者	15人

2 世界の緑茶の中心地としての地位の創造

(1) 日本茶の輸出促進

ア 輸出セミナーの開催

日本茶の輸出促進のため、輸出に関する情報交換を行うとともに、日本茶の輸出に関するセミナーを開催した。

開催時期	内容	場所	参加者数
平成 24 年 1 月 13 日	「米国における緑茶の市場について」 「米国企業との商談ノウハウ」 (ジェットロと共催)	ジェットロ静岡 (静岡市清水区)	100
平成 24 年 2 月 14 日	「米国における茶を楽しむ文化と輸出の可能性」 (静岡産業大学と共催)	静岡産業大学 (藤枝市)	150
平成 24 年 2 月 20 日	「米国バイヤーとのお茶輸出商談会」 (ジェットロと共催)	ホテルアシア静岡 (静岡市葵区)	55

イ 国際的な見本市（展示会）等への参加

国際的な食品見本市等に出展し、日本茶のPRを行うとともに、ブース内で輸出拡大に関心の高い茶業者に商談の場を提供した。

開催地	開催時期	内容
アメリカ (ニューヨーク)	平成 23 年 7 月 14 日	静岡茶のトップセールス 新しい日本茶の楽しみ方プログラム
アメリカ (シアトル)	平成 23 年 10 月 1 日 ～3 日	Northwest Tea Festival 会員企業と出展、静岡茶 PR 販売
幕張メッセ	平成 24 年 3 月 6 日 ～9 日	FOODEX JAPAN 世界緑茶コンテスト入賞茶展示

(2) 世界への情報発信

「世界の緑茶の中心地しずおか」を内外にアピールするため、インターネットホームページによる情報発信等を行った。

世界緑茶協会ホームページ 「O-CHA ネット」の運営	・イベント情報、ニュースの随時掲載 ・各コーナーの随時更新（アクセス数1ヶ月平均 93,300 件）
メールマガジンによる情報発信	・緑茶に関する情報、イベント情報など (1 回/月)

(3) 世界緑茶コンテスト開催事業

新しいコンセプトを持ち、創造性に満ちた魅力あるお茶の商品のコンテストを開催した。

募集期間	23年4月～7月
審査会	23年8月10日、11日 お茶の郷博物館
出品点数	77点（うち海外29点：中国、韓国、台湾）
入賞	最高金賞：9点 金賞：17点 パッケージ大賞1点 フロンティア賞3点
表彰式	23年10月17日 県男女共同参画センターあざれあ
入賞茶展示会	23年10月17日 県男女共同参画センターあざれあ 23年11月～24年3月 しずおかO-CHAプラザ 24年2月3日～4月 全国茶サミット in 島田 24年3月6日～9日 FOOD EX JAPAN

(4) O-CHAパイオニア顕彰事業

緑茶の振興に貢献した4（人・団体）の取組を顕彰した。

募集期間	23年4月～7月
審査	1次審査：23年8月 2次審査会：23年9月15日
表彰式	23年10月17日

<受賞者>

部門	受賞者	受賞内容
パイオニア大賞	小泊重洋 茶学の会会長	茶の生産技術研究から文化普及まで国内外への継続的情報発信
学術研究大賞	岩崎邦彦 静岡県立大学経営情報学部教授	リーフ緑茶のマーケティングに関する研究
新技術・新商品開発大賞	河村傳兵衛 ㈱RIVERSON 代表取締役	香味、機能性に特徴のある微生物制御発酵茶製造技術の開発と商品化
CHALLENGE賞	ステファン・ダントン ㈱おちゃらか代表取締役	日本茶の魅力を国内外へ発信するための新たな茶の飲み方の提案と山間地茶業の振興

(5) 輸出促進のための情報集積

日本茶の輸出促進のため、主要相手国 6 か国の農薬残留規制や食品表示規定、関税制度などを調査し取りまとめた。また、緑茶の健康に対する機能等に関する最新の研究成果情報を収集した。

平成23年度収支決算

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

(収入の部)

(単位:円)

科目	予算	決算額	差異	備考
1 基本財産運用収入	7,345,000	6,322,513	△ 1,022,487	償却原価法による減額
2 特定資産運用収入	0	194	194	
3 会費収入	11,500,000	10,650,000	△ 850,000	381人・団体(前年418人・団体)
4 事業収入	4,760,000	3,248,078	△ 1,511,922	
情報誌発行収入	400,000	518,630	118,630	
バナー広告収入	1,200,000	900,000	△ 300,000	
コンテスト出品料等収入	1,000,000	797,400	△ 202,600	
出展者負担金等収入	2,000,000	913,048	△ 1,086,952	
受講料収入	160,000	119,000	△ 41,000	日本茶に絞った中国語基礎講座受講料
5 県補助金等収入	29,552,000	29,551,255	△ 745	
補助金収入	6,725,000	6,725,000	0	
委託費収入	22,827,000	22,826,255	△ 745	O-GHAプラザオ及び空港皇茶コーナー運営受託等
6 雑収入	0	46,152	46,152	
受取利息	0	2,152	2,152	
雑収入	0	44,000	44,000	
当期収入合計	53,157,000	49,818,192	△ 3,338,808	
前期繰越収支差額	1,172,000	1,171,958	△ 42	
収入合計 (A)	54,329,000	50,990,150	△ 3,338,850	

(支出の部)

(単位:円)

科目	予算	決算額	差異	備考
1 事業費	49,468,000	41,473,212	△ 7,994,788	
(1)静岡の茶文化の提案及び普及	28,831,000	26,965,663	△ 1,865,337	
茶文化セミナー、講演会等の開催	3,157,000	2,167,433	△ 989,567	
緑茶通信等発行	4,664,000	3,888,640	△ 775,360	
その他の茶文化の振興に関する活動	1,079,000	979,130	△ 99,870	
静岡茶体験コーナー業務運営受託	2,855,000	2,854,950	△ 50	
静岡空港呈茶コーナー業務運営受託	16,677,000	16,676,510	△ 490	
静岡県・浙江省2012緑茶博覧会文化プログラム企画運営業務受託	399,000	399,000	0	
(2)世界の緑茶の中心地としての地位の創造	20,637,000	14,507,549	△ 6,129,451	
日本茶輸出の促進	5,948,000	3,558,396	△ 2,389,604	
世界への情報発信と集積	5,329,000	3,637,958	△ 1,691,042	
世界緑茶コンテスト開催	4,247,000	2,894,255	△ 1,352,745	
O-CHA/バイオニア顕彰事業	1,504,000	993,663	△ 510,337	
世界緑茶会議開催準備等	713,000	527,482	△ 185,518	
輸出促進のための情報集積事業受託	2,896,000	2,895,795	△ 205	
2 管理費	4,461,000	5,640,068	1,179,068	
(1)役員報酬	650,000	650,000	0	
(2)給与手当	1,210,000	1,210,000	0	
(3)福利厚生費	323,000	322,984	△ 16	
(4)会議費	50,000	117,600	67,600	
(5)旅費交通費	440,000	1,321,390	881,390	
(6)通信運搬費	550,000	61,740	△ 488,260	
(7)消耗備品費	0	368,550	368,550	
(7)消耗品費	80,000	365,296	285,296	
(8)減価償却費	44,000	3,675	△ 40,325	
(9)印刷製本費	100,000	38,850	△ 61,150	
(10)光熱費	70,000	87,947	17,947	
(11)貸借料	320,000	30,114	△ 289,886	
(12)支払負担金	10,000	62,500	52,500	
(13)諸謝金	54,000	177,300	123,300	
(14)租税公課	0	83,150	83,150	法人税、住民税含む
(15)委託費	500,000	535,500	35,500	会計支援業務委託等
(16)手数料	50,000	203,472	153,472	振込手数料等
(17)雑支出	10,000	0	△ 10,000	
3 固定資産取得支出	0	0	0	
4 退職給付引当金預金支出	200,000	200,000	0	
5 賞与引当金				各事業へ案分(770,000円)
6 予備費(C)	200,000	0	△ 200,000	
当期支出合計 (B)	54,329,000	47,313,280		
当期収支差額 (A)-(B)	0	3,676,870		
次期繰越収支差額 (A)-(B)+(C)	200,000	3,676,870		

正味財産増減計算書

平成23年 4月 1日から平成24年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
1 基本財産運用益			
基本財産受取利息	6,322,513	5,961,117	361,396
特定資産受取利息	194	216	-22
2 受取会費			
賛助会員受取会費	10,650,000	11,009,250	-359,250
3 事業収益			
情報誌発行事業収益	518,630	425,440	93,190
その他の事業収益	2,729,448	5,784,228	-3,054,780
世界緑茶コンテスト出品料	797,400	1,614,540	-817,140
出展負担金等収入	31,520	1,351,165	-1,319,645
お茶知識人養成講座受講料		130,700	-130,700
茶文化講演、呈茶等	982,138	1,170,943	-188,805
海外パンフレット等収入	18,390	65,880	-47,490
世界緑茶会議等収入		251,000	-251,000
パナ広告収入	900,000	1,200,000	-300,000
4 受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	6,725,000	8,648,000	-1,923,000
静岡県受託事業収益	22,826,255	20,596,000	2,230,255
6 雑収益			
受取利息	2,152	2,852	-700
雑収益	44,000	117,524	-73,524
経常収益合計	49,818,192	52,544,627	-2,726,435
(2) 経常費用			
1 事業費			
役員報酬	5,076,780	5,644,000	-567,220
給料手当	9,427,289	11,698,590	-2,271,301
臨時雇賃金	11,439,332	12,342,728	-903,396
福利厚生費	4,363,737	3,808,466	555,271
会議費	110,240	334,090	-223,850
旅費交通費	2,318,373	4,245,366	-1,926,993
通信運搬費	554,208	648,116	-93,908
消耗什器備品費	99,960		99,960
消耗品費	1,652,075	1,602,982	49,093
印刷製本費	435,908	797,032	-361,124
賃借料		70,350	-70,350
保険料	68,790	79,225	-10,435
諸謝金	1,650,956	1,151,584	499,372
租税公課	636,300	657,900	-21,600
支払負担金	332,864	1,152,626	-819,762
委託費	2,942,730	4,725,492	-1,782,762
広告宣伝費	252,000	336,000	-84,000
手数料	111,670	102,823	8,847
2 管理費			
役員報酬	650,000	537,000	113,000
給料手当	1,210,000	869,000	341,000
退職給付費用	200,000	200,000	
福利厚生費	322,984	373,401	-50,417
会議費	117,600	56,250	61,350
旅費交通費	1,321,390	607,181	714,209
通信運搬費	61,740	200,901	-139,161
減価償却費	3,675	44,100	-40,425

正味財産増減計算書

平成23年 4月 1日から平成24年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
消耗什器備品費	368,550		368,550
消耗品費	365,296	255,338	109,958
印刷製本費	38,850	81,900	-43,050
光熱水料費	87,947	81,601	6,346
賃借料	30,114	267,750	-237,636
諸謝金	177,300	27,300	150,000
租税公課	12,150	3,700	8,450
支払負担金	62,500	64,475	-1,975
委託費	535,500	535,500	
手数料	203,472	54,737	148,735
経常費用合計	47,242,280	53,657,504	-6,415,224
当期経常増減額	2,575,912	-1,112,877	3,688,789
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益合計			
(2) 経常外費用			
1 固定資産売却損			
有価証券売却損		589,449	-589,449
経常外費用合計		589,449	-589,449
当期経常外増減額		-589,449	589,449
税引前当期一般正味財産増減額	2,575,912	-1,702,326	4,278,238
法人税、住民税及び事業税	71,000	71,000	
当期一般正味財産増減額	2,504,912	-1,773,326	4,278,238
一般正味財産期首残高	1,171,958	2,945,284	-1,773,326
一般正味財産期末残高	3,676,870	1,171,958	2,504,912
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増加額			
指定正味財産期首残高	393,000,000	393,000,000	
指定正味財産期末残高	393,000,000	393,000,000	
III 正味財産期末残高	396,676,870	394,171,958	2,504,912

貸借対照表

平成24年 3月31日現在

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
(単位:円)			
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	7,715,093	6,325,189	1,389,904
普通預金	7,715,093	6,325,189	1,389,904
スルガ銀行 静岡南支店 普通2173142	6,727,280	4,399,132	2,328,148
静岡銀行 駅南支店 普通763138	898,803	812,717	86,086
ゆうちょ銀行 00860-3-166641	89,010	1,113,340	-1,024,330
未収金	2,034,071	3,095,746	-1,061,675
前払金	61,620	0	61,620
流動資産合計	9,810,784	9,420,935	389,849
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	391,540,194	392,562,800	-1,022,606
投資有価証券(指定)	391,540,194	392,562,800	-1,022,606
定期預金(基)	1,293,252	270,646	1,022,606
普通預金(基)	166,554	166,554	0
大和証券口座	166,554	166,554	0
基本財産合計	393,000,000	393,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	1,200,000	1,000,000	200,000
退職給付引当資産(一般)	1,200,000	1,000,000	200,000
特定資産合計	1,200,000	1,000,000	200,000
(3) その他固定資産			
その他固定資産	0	3,675	-3,675
その他固定資産合計	0	3,675	-3,675
固定資産合計	394,200,000	394,003,675	196,325
資産の部合計	404,010,784	403,424,610	586,174
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	4,689,186	5,132,104	-442,918
前受金	225,000	1,680,000	-1,455,000
預り金	449,728	150,548	299,180
送料	640	640	0
厚生年金預り	273,756	88,778	184,978
雇用保険預り	0	4,037	-4,037
健康保険料預り	175,332	57,093	118,239
賞与引当金	770,000	1,290,000	-520,000
流動負債合計	6,133,914	8,252,652	-2,118,738
2 固定負債			
退職給付引当金	1,200,000	1,000,000	200,000
固定負債合計	1,200,000	1,000,000	200,000
負債の部合計	7,333,914	9,252,652	-1,918,738
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	200,000,000	200,000,000	0
有価証券(財)	193,000,000	193,000,000	0
指定正味財産合計	393,000,000	393,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(393,000,000)	(393,000,000)	(0)
2 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	(1,200,000)	(1,000,000)	(200,000)
正味財産の部合計	396,676,870	394,171,958	2,504,912
負債及び正味財産合計	404,010,784	403,424,610	586,174

財産目録

平成24年3月31日現在(単位:円)

科 目	金 額	摘 要
(資産の部)		
流動資産	9,810,784	
現金・預金	7,715,093	
普通預金	7,715,093	スルガ銀行 6,727,280 静岡銀行 898,803 ゆうちょ銀行 89,010
未収金	2,034,071	補助金収入等
前払金	61,620	
固定資産	394,200,000	
基本財産	393,000,000	
有価証券	391,540,194	国債 213,465,720 国債 178,074,474
定期預金	1,293,252	スルガ銀行
普通預金	166,554	大和証券
特定資産	1,200,000	
退職給与引当資産	1,200,000	スルガ銀行
その他固定資産	0	
資産の部計	404,010,784	
(負債の部)		
流動負債	6,133,914	
未払金	4,689,186	委託費等
前受金	225,000	24年度分賛助会費、バナー広告料
預り金	449,728	送料 640 厚生年金 273,756 健康保険料 175,332
賞与引当金	770,000	
固定負債	1,200,000	
退職給付引当金	1,200,000	
負債の部計	7,333,914	
正味財産	396,676,870	

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券……償却原価法(定額法)によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

無形固定資産(ソフトウェア)……定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

① 賞与引当金

職員の賞与金の支払いに備えて、賞与支給見込額の当事業年度負担額を計上している。

② 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 会計方針の変更

従来、満期保有目的有価証券の貸借対照表価額は取得原価により評価していたが、当事業年度より、償却原価法による評価額に変更した。なお、金利調整差額の期間配分は定額法によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	166,554			166,554
定期預金	270,646	1,022,606		1,293,252
有価証券	392,562,800		1,022,606	391,540,194
小計	393,000,000	1,022,606	1,022,606	393,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	1,000,000	200,000	0	1,200,000
小計	1,000,000	200,000	0	1,200,000
合計	394,000,000	1,222,606	1,022,606	394,200,000

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充 当額)	(うち一般正味 財産からの充 当額)	(うち負債に対 応する額)
基本財産				
普通預金	166,554			
定期預金	1,293,252			
有価証券	391,540,194			
小計	393,000,000	(393,000,000)		
特定資産				
退職給付引当資産	1,200,000			
小計	1,200,000			(1,200,000)
合計	394,200,000	(393,000,000)		(1,200,000)

特定資産の利息については一般収入に繰り入れるものとする。

5. 担保にしている資産

なし。

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア	220,500	220,500	0
合計	220,500	220,500	0

7. 満期保有目的の債券の内訳

満期保有目的の債券の内訳は、次のとおりである。

科目	帳簿価格
11 30年国債	213,465,720
111 20年国債	178,074,474
合計	391,540,194

8. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	期首残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
補助金 新・静岡茶グローバル戦略推進 事業費補助金	静岡県	0	6,725,000	6,725,000	0	
受託金 しずおかO-CHAプラザ静岡 茶体験コーナー企画運営業務 委託	静岡県	0	2,854,950	2,854,950	0	
富士山静岡空港公的利活用 スペース 呈茶コーナー企画運営業務委 託	静岡県	0	16,676,510	16,676,510	0	
静岡県・浙江省2012緑茶博 覧会文化プログラム企画運 営業務委託	静岡県	0	399,000	399,000	0	
静岡茶の輸出促進のための 情報集積事業業務委託	静岡県	0	2,895,795	2,895,795	0	
合 計		0	29,551,255	29,551,255	0	

9. 指定正味財産から一般財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般財産への振替額の内訳

当該事業年度末までに目的たる支出を行うことが予定されている補助金等を受け入れた場合には、その受入額を受取補助金等として一般正味財産増減の部に記載できることから、当公益法人は一般正味財産へ記載をしている。